

いわない 社協だより

岩内町社会福祉協議会

第
78
号

社会福祉法人
岩内町社会福祉協議会

〒045-0022

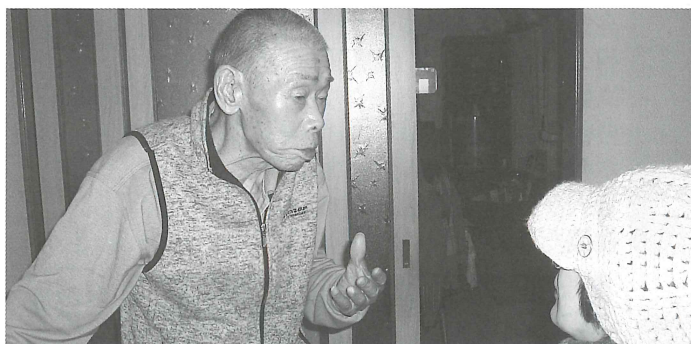
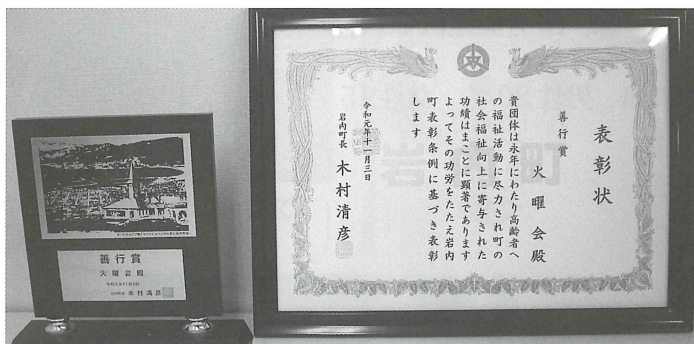
岩内郡岩内町字清住167

岩内町老人福祉センター内

TEL 0135-62-3328

FAX 0135-62-3859

令和1年12月1日



ボランティアグループ「火曜会」が岩内町功労者表彰善行賞を受賞しました

令和元年11月3日(日) 岩内地方文化センターにて、町の発展に功績のあった個人、団体に対して贈られる岩内町功労者表彰式が行われ、岩内町社会福祉協議会が事務局を担っているボランティアグループ「火曜会」がその功績を認められ見事「善行賞」を受賞いたしました。

「火曜会」は平成4年に結成され、今年で28年目になります。過去にも平成15年に善行賞を受賞しており、2度目の受賞となるこの度は、永年にわたる地道な活動が評価されたものと誠に嬉しく、会員一同今後の活動の励みになると喜んで受賞に感謝しておりました。

火曜会の活動内容は、主に町内に住んでいる独居高齢者の安否確認や相談、孤独感の解消を図り、月1～2回程度、訪問や電話での声掛けサービスをしています。また、毎月第3火曜日には例会を行い、会員さんより活動の報告や交流をしています。

現在、火曜会の会員は8名。利用対象者は7名となっております。

利用料などはかかりませんので、利用希望される方は岩内町社会福祉協議会(☎62-3328)までご連絡ください。また、協力していただける会員さんも募集しておりますので、興味のある方は是非ご連絡ください。

平成30年度事業報告

○理事会 3回開催(6月、12月、3月)

○評議員会 2回開催(6月、3月)

○小地域福祉活動事業

- ・8町内会(合計814世帯)において、高齢者見守り福祉カードの作成(149世帯)及び定期的な声掛け・見守り活動(81世帯)を行いました。各町内会単位で定めた見守りが必要と思われる世帯に対し見守りカードの作成、そのうち定期的な声掛けや見守りを希望された方に対し、安否確認を兼ねた声掛け訪問などを町内会単位で実施していただきました。(年間延べ1,991回実施)

○介護保険サービス

- ・訪問介護事業 月平均198名利用(年間延べ17,436回のヘルパー訪問)
- ・居宅介護支援事業 月平均66名利用(介護サービス計画《ケアプラン》の作成)
- ・福祉用具貸与事業 月平均35名利用(電動ベッド、車椅子、歩行器、手すり、スロープ等の貸与)

○障害福祉サービス

- ・居宅介護事業 月平均7名利用(年間延べ561回のヘルパー訪問)
- ・重度訪問介護事業 月平均1名利用(年間延べ72回のヘルパー訪問)

○受託事業

- ・生活支援指導訪問事業 月平均3名利用(年間延べ72回訪問)
- ・訪問給食サービス事業 月平均41名利用(年間延べ7,782食配送)
- ・車いす移送サービス事業 登録利用者数50名(年間延べ599回運行)
- ・手話奉仕員養成講座(岩宇4ヶ町村) 受講生7名(手話奉仕員養成講座[基礎課程]実施)
- ・日常生活自立支援事業 利用者7名(年間延べ106回の訪問及び270回の電話相談)
- ・電話サービス事業 緊急通報システム利用者に対し毎月1回電話による安否確認(月平均64名に対し年間延べ754回実施)
- ・生活支援コーディネーターの配置 高齢者が参加できる既存のサークル活動や地域活動を調査し、それを取りまとめた岩内町サークル活動等社会資源マップの作製

○赤い羽根共同募金運動(10月1日～12月31日)

○赤い羽根共同募金助成金による事業

- ・高齢者ふれあい昼食会 2回開催(6月大浜地区36名参加、10月栄地区28名参加)
- ・男の料理教室(7月開催 19名参加)
- ・高齢者ふれあいパークゴルフ大会(7月開催 35名参加 男性20名 女性15名)
- ・要保護世帯児童修学旅行援助事業(対象者50名)
- ・ボランティア団体活動助成事業
- ・老人クラブ団体活動助成事業
- ・社協だより発行(12月)



○歳末福祉パトロールは町内会にご協力頂いております。



○コーディネーターの協力のもと立ち上げた予防体操

○歳末たすけあい運動(12月1日～12月25日)

○歳末たすけあい募金助成金による事業

- ・要保護世帯へ歳末見舞金支給(60世帯に支給)
- ・児童施設入所者へ歳末義援金支給(53名に支給)
- ・各福祉施設、団体へ歳末義援金支給(5施設・団体に助成)
- ・歳末福祉パトロール(口取り配布)事業(573件に配布)

○貸付事業

- ・生活福祉資金貸付事業（実施主体：北海道社会福祉協議会）…貸付決定件数 0 件
- ・愛情金庫貸付事業（実施主体：岩内町社会福祉協議会）…貸付件数 43 件

○指定管理者事業

- ・岩内町デイサービスセンター管理運営事業 1日平均12名利用（年間延べ利用者数3,515名）
- ・岩内町老人福祉センター管理運営事業 センター利用者年間延べ人数43,620名（入浴利用者数31,940名）



収集したアルミ
缶は「いきがい」
の皆様で潰して
リサイクル業者へ



岩内町殉国遺族会
では、毎年終戦記念
日に招魂祭を岩内
神社のご協力により
挙行しております

○ボランティア活動関連

- ・社協ボランティア「いきがい」活動 草刈り、除雪等年間延べ14件の生活支援活動
- ・ボランティアグループ「火曜会」活動（声かけ訪問、電話サービス）
月平均8名利用（年間延べ186回の訪問及び電話での声掛け）
- ・ボランティア保険取扱事務…13件、計151名に対しての取扱事務対応
- ・有償ボランティア活動…利用会員244名に対し協力会員34名により、合計705回の種々の支援を実施。

○その他

- ・福祉用具展示室の開設（岩内町地域交流センター1階にて介護保険でレンタル及び購入可能な商品の展示）
- ・手話通訳派遣事業（岩宇4ヶ町村、寿都町同事業）年間延べ48回派遣
- ・古切手、アルミ缶、リングプルの収集
- ・福祉ベッド8件、車いす20件、ポータブルトイレ9件、歩行器2件、入浴補助用具13件の無償貸与
- ・社会福祉関係団体委任事業（岩内町殉国遺族会事務局）

平成30年度 岩内町社会福祉協議会収支決算

貸借対照表（平成31年3月31日現在） 単位：千円

資 産 の 部			負 債 の 部		
・流動資産		25,862	・流動負債		11,567
現金預金	11,945		事業未払金	9,896	
事業未収金	13,637		職員預り金	1,346	
前払金	24		前受金	69	
事業区分間貸付金	256		事業区分間借入金	256	
・固定資産		42,160	・固定負債		26,409
定期預金	1,000		退職給付引当金	26,409	
建 物	90		負債の部合計	37,976	
車輛運搬具	748		純 資 産 の 部		
器具及び備品	40		・国庫補助金等特別積立金		383
愛情資金貸付金	556		・その他の積立金		15,451
退職給付引当資産	26,409		基本財産積立金	1,000	
財政調整積立資産	1,975		財政調整積立金	1,975	
基盤強化基金積立資産	8,818		基盤強化基金積立金	8,817	
車輛更新資金基金積立資産	2,524		車輛更新資金基金積立金	2,524	
			愛情金庫積立金	1,135	
			・次期繰越活動増減差額	14,212	
			純資産の部合計	30,046	
資産の部合計	68,022		負債及び純資産の部合計	68,022	

平成30年度資金収支計算書 単位：千円

収入科目	予算額	決算額	差 異	支出科目	予算額	決算額	差 異
会費収入	2,000	1,758	△242	人件費支出	117,552	113,714	△3,838
寄附金収入	500	482	△18	事業費支出	24,946	23,541	△1,405
経常経費補助金収入	7,625	7,522	△103	事務費支出	13,032	12,335	△697
受託金収入	61,385	59,420	△1,965	貸付事業支出	1,680	1,023	△657
貸付事業収入	999	1,009	10	共同募金配分金事業費	1,736	1,642	△94
事業収入	278	299	21	助成金支出	644	644	0
負担金収入	300	300	0	負担金支出	400	386	△14
介護保険事業収入	70,780	72,741	1,961				0
障害福祉サービス等事業収入	4,900	4,835	△65				0
受取利息配当金収入	4	1	△3				0
その他の収入	1,642	1,684	42				0
積立資産取崩収入	7,650	7,500	△150	積立資産支出	3,426	3,404	△22
事業区分間繰入金収入	800	800	0	事業区分間繰入金支出	800	800	0
拠点区分間繰入金収入	2,508	2,481	△27	拠点区分間繰入金支出	2,508	2,481	△27
サービス区分間繰入金収入	8,919	8,258	△661	サービス区分間繰入金支出	8,919	8,258	△661
①当期資金収入計	170,290	169,090	△1,200	②当期資金支出計	175,643	168,228	△7,415
				③予 備 費	8,757		8,757
当期資金収支差額合計④＝①－②－③					△14,110	862	14,972
前期末支払資金残高⑤					14,110	13,434	△676
当期末支払資金残高⑥＝④＋⑤					0	14,296	14,296

平成31年度岩内社会福祉協議会事業方針

- (1) 少子高齢化や住民生活の多様化などにより、住民が抱える生活課題やニーズも複雑多様化し、高齢者や生活困窮者の孤独死や自殺、ひきこもりなどの社会的孤立の問題、虐待や悪質商法などの権利擁護の問題など公的制度だけでは対応できない様々な問題が広がりを見せております。
- こうした中、国では、地域住民の参画と協働により、誰もが支え合う共生社会を目指し、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる「地域共生社会の実現」を掲げております。
- また、今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、多様化するニーズ変化を背景にできるだけ住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」を実現していくことが求められており、そのうち、介護保険制度では、介護予防の一部が地域支援事業へ移行され、住民主体の助け合いや生活支援サービスの拡充を図り、地域の実情に応じた支援体制を構築していくこととされております。
- このような中、本会では平成30年度より町からの委託により生活支援コーディネーターを配置しておりますが、「地域共生社会の実現」と「地域包括ケアシステムの構築」の一役を担い、支援が必要な高齢者等が住み慣れたまちで生きがいをもって在宅生活を継続できるよう、地域での日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を目指し、これまで培ってきたネットワークを活かしながら、協議体や地域関係者との連携のもと推進して参ります。
- (2) 有償ボランティア活動については、日常生活上の困りごとに対し幅広い支援活動を実施し多くの利用者に喜ばれておりますが、年々増加する利用会員の一方、協力会員数は横ばいとなっており、その増強が課題であります。
- 協力会員については、自ら活動に参加することで健康増進を図り、やりがいや生きがいなどを見出し長く元気に地域生活が送れることを目的としておりますので、更なる周知活動や関係機関との連携を図り、無理なく幅広い支援活動に対応できる体制づくりに努めて参ります。
- (3) 一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯の増加等に伴い、全国的にも孤立死や消費者被害、詐欺、虐待、老老介護を背景とする痛ましい事件等も後を絶たず問題となっております。これらを未然に防止あるいは早期に発見し問題解決につなげるためには、普段からの関わりによる気づきが重要であります。
- そのため、これまで同様、町内会等の小地域を基盤として見守り活動や援助活動などが提供できる体制（ふれあいネットワーク活動）づくりを引き続き推進し、高齢者や障がいを持つ方などが安心して暮らしていける地域づくりを目指して参ります。
- (4) 介護保険事業については、平成30年度の法改正に伴う報酬改定がありましたが、本会が実施する事業についてはほぼ水準での改定であり、平成30年度は利用者の増加により増収増益の見込みであります。しかしながら、利用者の異動に大きく左右される事業でありますので、適正な人員配置や労務管理に努め、継続して経営の安定化を図って参ります。
- (5) 在宅サービスを提供する者として利用者個々の相違を的確に見極め、適切な支援ができるよう努めるとともに、町をはじめ福祉関係機関等との連携を密にし、問題の早期発見、ニーズの明確化に努め、効果的な事業運営を推進して参ります。
- (6) 高齢や障がいにより日常生活の判断に不安がある方を対象に行っている日常生活自立支援事業（福祉サービスの利用手続きや金銭管理支援など）は、利用件数は微増ですが、潜在的な要援護者も多くいるものと推測され、今後においても利用者の増加が見込まれますので、支援員の確保を図るなど適正に実施できるよう努めて参ります。
- (7) 会計業務については、内部監査や外部監査の実施により適正に処理されるよう努めておりますが、今後も継続的に適正に実施されるよう努めて参ります。
- (8) 社協の広報活動については、社協だよりの発行とともに、ホームページ等により事業活動のお知らせなど随時、効果的に発信し周知活動に努めて参ります。
- (9) 今日の厳しい社会、経済状況を反映して、社協会費や寄附金なども減少傾向にありますが、出来る限り自己財源の確保に努めるとともに、職員の資質向上に向けて積極的に研修会等へ参加し、社協基盤の充実強化を図り、各種事業が円滑に運営出来るよう努力して参ります。

平成31年度岩内町社会福祉協議会収支予算

単位：千円

資 金 収 入 の 部				資 金 支 出 の 部			
科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	科 目	本年度予算	前年度予算	増 減
会 費 収 入	2,000	2,000	0	人 件 費 支 出	114,226	116,910	△2,684
寄 附 金 収 入	500	500	0	事 業 費 支 出	27,117	24,834	2,283
経常経費補助金収入	10,534	7,625	2,909	事 務 費 支 出	12,644	12,104	540
受 託 金 収 入	63,220	60,617	2,603	貸 付 事 業 支 出	1,700	1,680	20
貸 付 事 業 収 入	999	999	0	共同募金配分金事業費	1,646	1,736	△90
事 業 収 入	238	256	△18	助 成 金 支 出	644	644	0
負 担 金 収 入	300	300	0	負 担 金 支 出	400	400	0
介護保険事業収入	71,180	69,480	1,700	積 立 資 産 支 出	3,078	3,426	△348
障害福祉サービス等事業収入	4,560	5,400	△840	事業区分間繰入金支出	1,000	0	1,000
受取利息配当金収入	4	4	0	拠点区分間繰入金支出	2,492	1,740	752
そ の 他 の 収 入	930	1,000	△70	サービス区分間繰入金支出	8,624	8,197	427
積立資産取崩収入	4,700	9,000	△4,300				
事業区分間繰入金収入	1,000	0	1,000				
拠点区分間繰入金収入	2,492	1,740	752				
サービス区分間繰入金収入	8,624	8,197	427				
当 期 収 入 額 計	171,281	167,118	4,163	当 期 支 出 額 計	173,571	171,671	1,900
前期未支払資金残高	12,990	14,110	△1,120	予 備 費	10,700	9,557	1,143
収入合計	184,271	181,228	3,043	支出合計	184,271	181,228	3,043

任期満了に伴い役員の改選を行いました

任期：令和1年6月18日から令和3年度定時評議員会の終結の時まで

職 名	氏 名	職 名	氏 名
会 長	丸 山 誠 一	理 事	松 本 澄
副 会 長	千 葉 正 憲	〃	田 中 洋 子
〃	藤 居 久 子	〃	佐々木 達 也
理 事	高 橋 一 彦	〃	手 塚 良 人
〃	花 田 敏 正	常務理事	本 間 康 弘
〃	北 野 伊 三 夫	幹 事	野 崎 幸 博
〃	佐 藤 良 裕	〃	久 米 留 李 子

～各社会福祉大会における功労者表彰～

8月21日、札幌市で開催された第69回北海道社会福祉大会において、宮園地区の民生委員である花田敏正さんが、20年の永きにわたり地域住民の生活の安定と行政の推進に寄与された功績が認められ、北海道知事表彰として「北海道社会貢献賞（民生委員・児童委員）」を受賞されました。

表彰式典では、花田さんが当該受賞者を代表して登壇し表彰され、さらに、式典の最後には893名、8団体の全受賞者を代表して謝辞を述べ式典を締めくくりました。

花田さんは、平成10年より岩内町民生・児童委員を委嘱され、御年82歳となられる現在まで地域住民の福祉向上に人一倍熱心に取り組まれてきたその功績が大いに認められた受賞であります。この12月の改選期をもって民生・児童委員を惜しまれつつ退任いたしますが、これまでのご活躍に敬意と感謝を表します。本当にお疲れ様でした。

このほか、本会の丸山会長、千葉副会長、北野理事、佐藤理事がそれぞれ15年の永きにわたり社会福祉の増進に寄与された功績が認められ「社会福祉協議会役員功労者」として、また、東山地区の民生委員である橋村功さん、乾哲夫さん、万代地区の志尾良治さん、栄地区の藤田秀子さん、清住地区の山本彰子さん、主任児童委員の久市ひとみさんが、15年の永きにわたる活動の功績が認められ、「民生委員・児童委員功労者」として北海道社会福祉協議会々長表彰を受賞されました。

また、8月23日に泊村で開催された第73回小樽・後志社会福祉大会において、小樽・後志地区社会福祉協議

会連絡協議会々長表彰の式典が執り行われ、当会の評議員である小野裕氏が「社会福祉協議会役員功労者」として、また、大浜地区の民生委員である河野隆幸氏が「民生委員・児童委員功労者」として、それぞれ10年の永きにわたり地域福祉の増進に寄与された功績が認められ受賞されました。

受賞された皆様、本当におめでとうございます。



㊤知事表彰を受け、㊦謝辞を述べる花田さん

有償ボランティア「たすけて」 は、地域の助け合い

除雪や草刈り、ゴミ出しなどで手助けをしてほしい方はいませんか？困ったな、どうしたらいいのかと思ったらまずはお相談を！

限られた日や曜日、短時間であっても自分のスタイルに合わせてボランティアはできます。

困っている方のため、地域に少しでも役に立ちたい、ボランティアで「いきがい」を感じてみたい方は、有償ボランティアと一緒に活動してみませんか。



お問い合わせ先 岩内町ボランティアセンター ☎62-3328

岩内町デイサービスセンター

岩内町デイサービスセンターは皆様のご利用に支えられ、今年で23年目を迎えました。主な活動内容をご紹介します。

車での送迎、看護師による健康チェック、入浴や昼食に加え、楽しむだけでなくリハビリ効果も得られるようなレクリエーション等も行っております。

同じ曜日のお仲間の方々と、楽しく有意義な時間を過ごしていただけます。

送迎

自宅⇄センターを介護員が
同行し安全に送迎します。



入浴

利用者の状況に合わせて必要な介助に
より安心して入浴できます。



レクリエーション

体力維持や認知症防止を目的とし
ながら、楽しめるものを行います。



～1日の流れ～

- 9:00 ご自宅までお迎えします
- 9:30 センター着・健康チェック
- 10:00 入浴
(身体状況に合った方法で入浴できます)
- 12:00 昼食(個別対応します)



- 13:40 レクリエーション等
- 14:15 お茶休憩
- 15:00 ご自宅までお送りします

岩内町デイサービスセンターへの問い合わせは

☎61-2046 (担当：河淵)

までお気軽にどうぞ

町内会・自治会で見守り活動に取り組んでみませんか？

～『ふれあいネットワーク活動』について～

在宅生活を支えるには、福祉サービスとともに家族や近隣住民など、公的サービス以外の力が必要です。

岩内町社協で推進している『ふれあいネットワーク活動』は、高齢者や障がいを持つ方などが住みなれた地域で安心して生活できるよう身近な地域（町内会や自治会単位）ごとで見守りや声掛け訪問等を行い、日頃の安否確認や問題の早期発見、解決を図る支え合いの活動です。

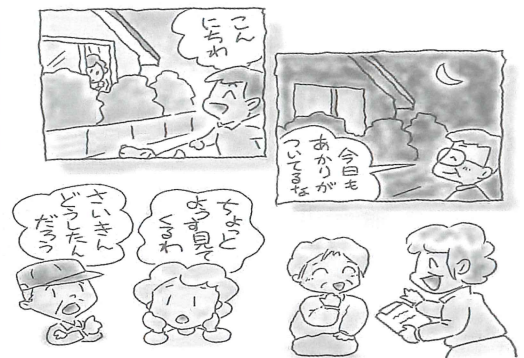
現在8町内会において81世帯の高齢者独居及び夫婦世帯等を対象に【見守り】※1や【声掛け訪問】※2による安否確認を定期的におこなっており、必要な福祉サービスの利用につなげたケースや対象者からは地域の見守りが心強く安心などの声をいただいております。なお活動に取り組まれる町内会・自治会に対しては助成金もありますので『活動に取り組みたい!』『詳しく話を聞いてみたい!』といったご要望がありましたら遠慮なくご相談ください。【岩内町社協 ☎62-3328】

※1【見守り】とは？

ご自宅に直接、定期的な訪問はいたしません。例えば『新聞や郵便物が溜まっている』『最近夜になっても電気がともらない。』といった異変が起きていないかを町内会単位で見守りし、異変が生じた場合、安否確認のため訪問します。

※2【声かけ訪問】とは？

ご自宅に直接、定期的な訪問し、日常生活において心配ごとや何か問題等生じていないか安否確認を含め訪問する活動です。



（車いすのままスロープで乗降車します）

車いす移送サービス

岩内町より受託し実施している「車いす移送サービス」は、在宅で車いすを利用して生活している方を対象に、町内（部共和町含む）への通院等の際の送迎サービスで、次の場合に利用することが出来ます。

①通院及び入院退院する場合
②入院中の病院から外出又は外泊をする場合
③歯科医院へ通院する場合
④町及び福祉団体が開催する行事に参加する場合

車いすに乗ったまま乗降車できる福祉車両（通称「ひまわり号」）で送迎を行っており、安心して外出できると多くの利用者に喜ばれています。

車いすの貸出しもできますので、利用ご希望の方は、事前に社協までご連絡ください。

・利用料金 無料

・運行時間 月曜日～金曜日

午前8時45分～午後5時15分（祝日を除く）

・お問い合わせ先 岩内町社会福祉協議会

電話 62-3328

訪問給食サービス

町内在住で、自分で食事を賄うことが困難な高齢者や障がいのある方に対して、夕食をお届けする「訪問給食サービス」を岩内町から受託し実施しております。



『自分で調理していたが足腰が悪くなりできなくなった』『妻が亡くなり自分では調理もできないし、買い物も難しい』など食事でお困りの方はご相談ください。

栄養のバランスのとれた献立を工夫し、美味しく召し上がっていただけるようスタッフが心を込め調理しております。

また、配送は安否確認を兼ねてご自宅へお届けし、ふれあいを深めるよう努めております。

・実施日 月曜日から土曜日（祝日を除く）

・利用日 週3日から6日のどちらか

・料金 1食500円

ご利用の申請は、

役場介護保険担当

（電話677085）まで

平成30年度 共同募金実績

昨年度の共同募金は

戸別募金	821千円
街頭募金	30千円
職域募金	47千円
その他	561千円
計	1,459千円

併せて1,459千円と多くの方々よりご協力をいただきました。
ご厚志に感謝申し上げます。

なお岩内町社協へは595千円が助成され、貴重な財源として
児童福祉、老人福祉、ボランティア活動に使われています。

平成30年度 歳末たすけあい実績

収入	897,872 円
前年度繰越金	118,383 円
助成内訳	
低所得高齢者世帯	60件 300,000 円
児童施設入所者	53件 106,000 円
施設・団体配分	5件 170,000 円
歳末福祉パトロール	573件 429,750 円
計	1,005,750 円

歳末見舞金交付のお知らせ

岩内町社会福祉協議会では、次の低所得世帯に対し少しでも温かいお正月を迎えることができるよう、歳末たすけあい募金を財源として「歳末見舞金」を交付いたします。

(交付予定額 1世帯あたり5,000円)

※歳末たすけあい募金実績により交付金額が変動する場合があります。

【対象世帯】①75歳以上の単身世帯

②その他75歳以上の方のみで構成される世帯

★平成31年度の町民税が非課税世帯であること。

★平成30年中の収入が、単身世帯で90万円以下、
複数世帯で133万円以下であること。

※年齢は数え年(昭和20年12月31日以前に生まれた方)

※生活保護受給世帯及び入院中、施設入所中の方は対象外となります。

※住民票上世帯分離していても、同じ家に住んでいる場合は同居とみなします。

【申込み方法】

○申請窓口

岩内町社会福祉協議会または地区の民生委員。
社協まで申請に来られない方は、地区の民生委員まで
ご連絡下さい。

○必要なもの

印鑑、遺族年金または障害年金を受給されている方は、
受給額がわかるもの

○しめきり

令和元年12月12日(木)まで

○お問い合わせ

社会福祉法人岩内町社会福祉協議会
岩内町字清住167番地(岩内町老人福祉センター内)
電話 62-3328 FAX 62-3859

岩内町サークル活動等社会 資源マップが完成しました。

岩内町社会福祉協議会では平成三十年
四月より生活支援体制整備事業がスタート
したことにより、岩内町から委託を受け
生活支援コーディネーター(通称 ユーディ
ネーター)を二名配置しております。

コーディネーターの役割りの二つに高齢
者がいつまでも住み慣れた地域で安心して
在宅生活が続けられるよう高齢者の社会
参加と地域の支えあい体制づくりがありま
す。

そこでこの度、町内の各種団体の協力を
いただき高齢者が定期的に外出し社会参
加できるふれあいの場や、既存の団体の情
報を整理し社会資源マップを冊子にしてま
とめあげることができました。

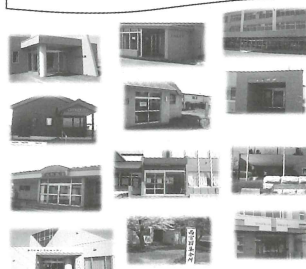
内容は町内にある各公共施設の場所や
連絡先といった情報他、そこで定期的に
行われている団体等の活動内容や活動日
時、また、記載されているもの以外で詳しく
知りたい場合の問い合わせ先として代表者
等の連絡先も掲載させていただきました。

この冊子に興味のある方は岩内町社会
福祉協議会ホームページで随時ダウン
ロードできる他、岩内町役場や町内にある
各集会所、岩内町地方文化センター、働く婦
人の家、岩内町地域交流センター、岩内町
老人福祉センターにも設置しておりますの
でご利用いただければ幸いです。



「いわない社協だより」は赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しております。

岩内町サークル活動等 社会資源マップ



このマップは高齢者でも参加できる町内のサークル
活動や各種団体等を生活支援コーディネーターが調
査し掲載した情報をもとに作成しております。

岩内町社会福祉協議会
(掲載情報は平成31年4月現在のものです。)

なお、町内で地域の自主的な高齢者の
交流の場を立ち上げたいといった場合、
新規立ち上げから軌道に乗るまでの間、
コーディネーターが無料でお手伝いいた
しますので、興味のある方は遠慮なくご
相談下さい。

生活支援コーディネーターに関する
問い合わせは

岩内町社会福祉協議会

TEL 62-33328